

令和2年度 新型インフルエンザ等対策訓練実施結果(圏域毎)

圏域	実施日	構成員等	訓練内容	結果及び課題、考慮した点及び課題 ①改善した点(考慮した点) ②新たな課題 ③全体を通じた評価
阪神南				
阪神北				
神戸				
北播磨				
東播磨				
中播磨	10月13日	管内の高齢者施設職員19名	新型コロナウイルス感染症発生時の対応について COVID-19感染症 ～検体採取について～	感染症の防止策について、理解が深まったと感じるが、担当者が変わることも踏まえ継続した取り組みが必要と感じた。
西播磨	5月14日	新型コロナ・インフル感染対策視察 とくなが病院 20名 宍粟総合病院 30名 龍野保健所 2名	医療機関が行っている発熱外来の感染対策チェック	
	7月23日	陰圧テント設営訓練 たつの市民病院 5名 龍野保健所 1名	適切な陰圧テントの設置啓発	
	9月24日	防護服(PPE)の着脱訓練 宍粟市健康福祉課 10名 宍粟市医師会 5名	感染防止のための正しい防護服(PPE)着脱訓練	
但馬	9月3日	公立病院感染制御チーム等関係者 健康福祉事務所関係者 85名	1情報提供「兵庫県、但馬地域の医療体制の現状と課題」 2講演「神戸市立医療センター中央市民病院における院内感染対策の取組」 講師:神戸市立医療センター中央市民病院 感染管理室 感染症看護専門看護師/感染管理認定看護師 新改法子氏 3意見交換「感染拡大期における院内感染防止のための課題、取組等」	①院内クラスターの経験のある医療機関の取組から、院内感染対策の意識の向上が図られるとともに、各病院の取組の参考となった。研修会後も講師と相談のできる関係が築けた。
	3月13日	公立病院感染対策にかかわる看護師、健康福祉事務所保健師 36名	1情報提供「但馬における発生状況及び医療体制について」 「高齢者施設における施設内感染発生時の基本的な考え方」 2講義及び実習「新型コロナウイルス感染症発生時の施設への指導について」 講師 公立豊岡病院 感染管理室 ICN 吉盛奈津美氏 " 藤本 裕子氏 公立八鹿病院 感染対策室 ICN 澄田 亜弥氏	①ICNの少ない圏域での、公立病院看護師の協力体制を強化することにより、身近な公立病院と施設との連携が図られることを期待。 ②在宅療養者にかかわる医療/看護/介護スタッフが、適切に感染防護し、療養者への対応が敬遠されることなく継続できるよう支援が必要。
丹波				
淡路	R2.4.28 (設置) R2.11.10 (撤去)	県立淡路医療センター職員、日本船舶薬品株式会社職員、洲本健康福祉事務所職員等 18名 × 2 = 36名	・陰圧テントの設置、撤去	・陰圧テント設営、撤収の技能習得は簡単に出来ないことが判明。 ・陰圧テントのメンテナンスが必要 ・陰圧装置の各種フィルターが劣化しているため交換が必要である。
	5月27日	消防署職員、市役所、医療機関、漁協職員、健康福祉事務所等関係職員 17名	・感染防護具の着脱訓練	(課題) ・訓練を実施した結果、安全かつ正確に感染 防護具を着脱出来るようになるには、今後も 頻繁に訓練する必要がある。